

# 田無神社 龍神池 調査・管理報告書

活動日	2022年11月8日	天候	晴れ	活動時間	9:30~12:30
作業者	山下 洋平、齋田 滉大			報告者	山下 洋平
目的	生物調査 および ビオトープ管理				
内容					
<b>【作業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・龍神池の写真撮影</li><li>・生物調査</li><li>・水質検査(COD、リン酸、亜硝酸)</li><li>・外来種の駆除</li><li>・植物の剪定</li><li>・落ち葉や藻の除去</li></ul>					
<b>【水質調査について】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・COD、リン酸態リン、亜硝酸態窒素を測定した。すべて前年度と同様の数値であった。詳細については下記に記載する。</li><li>・CODの値は2~4mg/L(ppm)であった。これはコイ、フナ等富栄養湖型水域の水産生物が漁獲できる(水産3級)とされる値とほぼ同じであり、比較的きれいな水の値である。</li><li>・リン酸態リンは、0.05mg/L(ppm)以下で、比較的きれいな水の値であった。</li><li>・亜硝酸態窒素は0.02mg/L(ppm)以下と非常に低く、きれいな水の値であった。</li></ul> 以上のことから、昨年度に引き続き、水質は良好であった。					
<b>【生物調査の詳細】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ビオトープ創出時に導入した生物も含め、生息・生育状況の調査を実施した。</li><li>・夏季調査に引き続き、秋季調査でも多数のモツゴの稚魚を確認することができた。一方で、成魚は確認できなかった。</li><li>・深場でクロイトンボの幼虫を7個体確認した。また、同所にてトンボ科の幼虫を多数確認したが、若齢個体のため同定できなかった。</li><li>・浅場にてモノアラガイ科の一種を確認した。繁殖時期や形質が在来種(モノアラガイやヒメモノアラガイ)と異なるため外来種である可能性が高い。</li><li>・アイノコイトモの殖芽を確認することができた。</li><li>・浅瀬にて絶滅危惧種シャジクモ(東京都レッドリスト2020: VU)を多数確認した。</li><li>・池周縁部に外来種のメリケンガヤツリを確認したため適時除草をおこなった。</li></ul>					
<b>【ビオトープの管理作業】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・堆積した落ち葉や枝の除去</li><li>・アオミドロの除去</li><li>・土壌耕耘</li></ul>					
<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・池からの溢水量が減少しているとのことだったので、ポンプの栓を締め溢水量を上げ</li></ul>					

・用がわりの肌小里が減少していることに基づいて、ホップの性を板の肌小里を上升させた。